

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2277
	基本事業	協働事業の充実		事業実施主体	市
	事務事業	ボランティア・市民活動推進事業（男女共同参画・協働推進課分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市における市民活動の促進と協働の推進を図るため、高松市協働づくり懇談会による協働推進施策・コミュニティ施策についての意見聴取や、協働推進員への人材養成研修を行うなど、多様なパートナーシップによるまちづくりを推進する。				
6年度概要	特定非営利活動法人認定等事務 高松市協働づくり懇談会等開催 所属担当協働推進員研修等開催 市民活動保険 職員協働研修				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務無）		


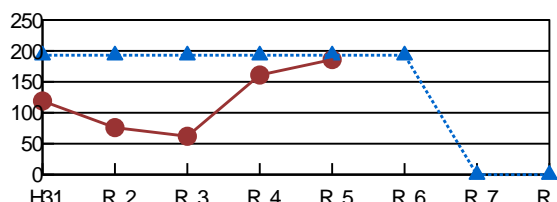

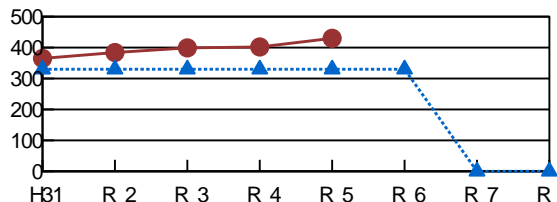
【事業の目的】

対象（何を）	市内に主たる活動拠点がある市民活動団体等 高松市職員
意図（どのような状態にしたいか）	市民活動の促進と協働の推進を図る。また、研修を通して、職員の協働への意識改革を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
所属担当協働推進研修実施回数	回	2	2	2	0	3
市民活動センター講座等数	回	30	37	42	0	36

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
成果指標	所属担当協働推進研修受講者数	人	目標値	193	193	193	193	193
			実績値	62	161	186		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行し、行動制限が緩和されたことに伴い、実績値は回復傾向にあるものの、目標を達成できなかった。 							(達成度) 96.4%
								33点
成果指標	市民活動センター利用登録団体数	団体	目標値	330	330	330	330	330
			実績値	399	402	430		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民活動センターを平成28年度から瓦町FLAGに移転したことに伴い、活動拠点の確保等、機能が強化されたことから、利用登録団体数は年々増加し、当初の目標値を上回った。 							(達成度) 130.3%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	[円]	4,272	4,234	5,455	8,021
（事業費）	[円]	119	118	1,315	3,881
（職員人件費）	[円]	4,153	4,116	4,140	4,140

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

行政との協働事業の経験が豊富な市民活動団体の代表者を講師に招き、内容の充実を図ることができた。今後、協働推進員が主体的に関わることができるなど、研修内容の更なる充実を図る必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

協働推進員の人材養成研修の実効性をより高めることで、市民活動団体等と多様なパートナーシップを構築できる能力を養成し、協働を推進するとともに、市民活動団体等の育成に取り組んでいく。

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	協働コミュニティ推進課
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2277
	基本事業	協働事業の充実		事業実施主体	市
	事務事業	ボランティア・市民活動推進事業（コミュニティ推進課分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域コミュニティ協議会と行政との協働によるまちづくりを推進するため、地域担当協働推進員をはじめとした市職員向けの研修を行う。			
6年度概要	地域担当協働推進員研修事業			
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市職員
意図（どのような状態にしたいか）	研修を通して、地域コミュニティ活動に関わる職員の協働への意識改革を図る。また、同一区内に住む職員のリーダー的な役割が担える人材に養成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
地域担当協働推進研修実施回数	回	1	2	2	0	4

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
地域担当協働推進研修受講者数	人	目標値	240	220	220	220	220
		実績値	14	39	242		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） オープニングミーティングは、エリアを4つに分けて、地域担当協働推進員とコミュニティ協議会等の地域の方々が対面で開催した。また、1月に地域の活動を知ってもらうことを目的に、動画視聴とLoGoフォームでのアンケートによる研修を実施した。		(目標達成度)					(達成度) 110.0%
							35点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	[円]	3,781	5,245	5,274	5,411
（事業費）	[円]	6	6	5	142
（職員人件費）	[円]	3,775	5,239	5,269	5,269

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

すべての総合センターが稼働することに伴い、地域との更なる協働を推進するため、令和5年度から、地域担当協働推進員制度を拡充、各地域3人体制として対応した。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

令和5年度から地域担当協働推進員制度を見直し、1人体制から3人体制と変化したことに伴い、地域との架け橋を担う職員の意識向上等を図るため、引き続き、研修や情報共有の機会の創出に取り組んでいく。また、地域の人たちにも、協働推進員に対する理解を深めてもらう機会もつくる必要がある。